様式２－１（使用料制施設用）

管理運営状況評価書 【対象年度：平成22年度】

課名　　都市政策課

施設名	掛川駅南、北第１、第２自転車等駐車場
条例名	掛川市自転車等駐車場条例
施設設置目的	掛川駅周辺における自転車等の利用者の利便性に資するとともに、自転車等の駐車秩序の確立を図るため
指定管理者名	小笠山麓開発株式会社
指定期間	平成21年4月1日から平成24年3月31日まで
自主事業の有無	無　（事業費　千円）
指定事業の有無	無　（事業費　千円）
使用料制・利用料金制の別	使用料制

決算状況等（単位：千円）		H18	H19	H20	H21	H22	備考
	指定管理料（A）	25,200	25,200	25,200	25,200	24,696	詳細様式2-2
	施設利用料（B）	33,330	34,719	34,405	34,320	33,814	
	差引（B－A）	8,130	9,519	9,205	9,120	9,118	

事業報告書	有り（法第244条の2第7項による義務付け）
利用者満足度調査等実施の有無	無し

評価	評価内容	結　　果	改　善　策
	1　施設運営目的の達成度	駅等利用者の駐輪需要の充足および駅周辺の秩序の維持に対し、十分に目的を達成している。	目的達成については十分になされていることから、施設管理上の問題はない。
	2　利用者満足度	施設の利用形態上、利用者が長時間とどまることがないため、満足度調査アンケートの実施は難しく、実施していない。 施設運営の苦情は、指定管理者が受け付けたものについてH22年度分は0であり、利用者の満足度はある程度高く保たれていると考える。 利用件数についてH20　563,085台、H21　569,820台、H22　559,612台と大幅な変動もなく、常に一定数ある駐輪場需要を充足してい	指定管理者による施設運営上の満足度は一定以上保たれているものと見られることから、今後も同様に適正な管理継続を期待する。
	3　効率的な運営	有人での駐輪指導や各種問い合わせ対応および無断駐車等の管理を実施しているため、委託料に占める人件費の割合が高くなっている。しかし、現状の施設の運営上、有人管理が必要であるため、ある程度の人数を要する運営方法は概ね適当である。	利用者に対し、現在行われているように、人員を動員したきめ細かなサービスを実施することも重要な事項の一つではある。 一方で、利用者の集中は通勤・通学時に限られており、その他の時間については人員配置を見直す余地も感じられるため、今後指定管理者と施設の利用状況についてよく協議・検討し、現在動員している人員について精査していきたい。
	4　その他の課題等	利用マナー（施設利用の安全意識）の向上が必要である。場内での乗車が危険性を高めている。 長期的な課題としては施設の老朽化・形式が現代的でないことが挙げられる。	啓発活動、対策を指定管理者と協働し進める。 また、道路に面しているため警察にも啓発・注意活動を依頼した。 改修には費用面等の課題があるため、今後、利用状況の確認や指定管理者との相談の上、長期的に修理・改善を施していく必要がある。

様式２－２（使用料制施設用）

掛川駅南、北第１、第２自転車等駐車場

＜指定管理料内訳（Ａ）＞　（単位：円）

区　　分	H20決算	H21決算	H22決算	備　　考
人　件　費	8,494,500	8,557,500	8,557,500	
委　託　料	12,684,000	12,684,000	12,684,000	
管理補助業務委託	9,450,000	9,450,000	9,450,000	
夜間警備委託	3,150,000	3,150,000	3,150,000	
消防設備保守点検	84,000	84,000	84,000	
印　刷　費	1,575,000	1,575,000	1,575,000	
通　信　費				
修　繕　費	189,000	10,500	10,500	
清　掃　費				
保　守　点　検　費				
借　上　料				
光　熱　水　費				
燃　料　費				
保 険 料				
文具、消耗品など	283,500	273,000	262,500	
そ　の　他	1,974,000	2,100,000	1,606,500	
合　　計	25,200,000	25,200,000	24,696,000	

＜施設利用料（Ｂ）＞　（単位：円）

区　　分	H20決算	H21決算	H22決算	備　　考
施設利用料収入	34,405,600	34,320,750	33,814,850	掛川市へ収入

＜施設利用者数＞　（単位：人）

区　　分	H20決算	H21決算	H22決算	備　　考
施設利用者数	563,085	569,820	559,612	